

| 第1期末 (2015年11月20日) |         |
|--------------------|---------|
| 基準価額               | 11,211円 |
| 純資産総額              | 899百万円  |
| 騰落率                | 12.1%   |
| 分配金                | 0円      |

# <購入・換金手数料なし> ニッセイJPX日経400 インデックスファンド


追加型投信／国内／株式／インデックス型

## 交付運用報告書

作成対象期間：2015年1月29日～2015年11月20日

第1期 (決算日 2015年11月20日)

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**(コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <http://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

NISSAI  
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「<購入・換金手数料なし>ニッセイJPX日経400インデックスファンド」は、このたび第1期の決算を行いました。

当ファンドは、主に「ニッセイJPX日経400インデックスマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に国内の金融商品取引所上場株式に投資を行い、JPX日経インデックス400(配当込み)の動きに連動する成果を目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも是非ご継続頂き、いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

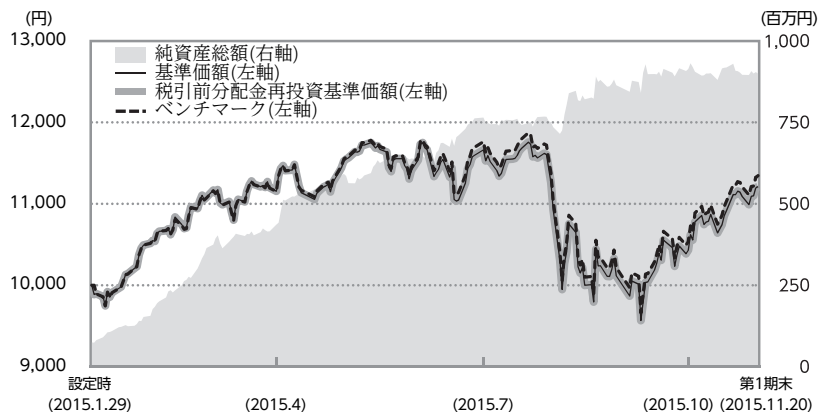
- 当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。上記ホームページの「基準価額一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「商品ページ」において、運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ J P X日経400インデックスファンド

## 運用経過

(2015年1月29日から2015年11月20日まで)

### 基準価額等の推移



|                    |         |
|--------------------|---------|
| 設定時                | 10,000円 |
| 第1期末               | 11,211円 |
| 既払分配金              | 0円      |
| 騰落率<br>(分配金再投資ベース) | 12.1%   |

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークはJPX日経インデックス400(配当込み)で、設定時を10,000として指数化しています。「JPX日経インデックス400」は、日本取引所グループおよび東京証券取引所(以下総称して「JPXグループ」といいます)ならびに日本経済新聞社(以下「日経」といいます)の知的財産であり、その商標権その他の知的財産権は、すべて「JPXグループ」および「日経」に帰属しています。「JPXグループ」および「日経」は、「JPX日経インデックス400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。「JPXグループ」および「日経」は、「JPX日経インデックス400」の構成銘柄、計算方法、その他「JPX日経インデックス400」の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。「JPXグループ」および「日経」は、当商品の運用および取引に関して、一切の責任を負いません。以下同じです。

### ■基準価額の主な変動要因

設定時以降、国内景気に対する改善期待などから、基準価額は上昇基調で推移しました。6月にはギリシャ債務問題等の影響を受けて下落する場面もありましたが、その後は国内企業の好調な決算や円安進行などを背景として堅調に推移しました。8月中旬に中国人民銀行(中央銀行)が人民元の基準値切り下げを発表したことで、世界的に株式市場が急落しましたが、10月以降は、欧州や国内の追加金融緩和期待や円安進行などを背景に反発し、基準価額は上昇基調のまま当期末を迎えました。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ J P X 日経400インデックスファンド

## 1 万口当たりの費用明細

| 項目         | 第 1 期                  |         | 項目の概要  |
|------------|------------------------|---------|--|
|            | 2015年1月29日~2015年11月20日 |         |  |
|            | 金額                     | 比率      |  |
| 信託報酬       | 30円                    | 0.271%  | 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$<br>期中の平均基準価額は10,955円です。 |
| (投信会社)     | (13)                   | (0.123) | ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価   |
| (販売会社)     | (13)                   | (0.123) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価  |
| (受託銀行)     | ( 3)                   | (0.026) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価   |
| 売買委託手数料    | 4                      | 0.040   | 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数  |
| (株式)       | ( 0)                   | (0.000) | 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料   |
| (先物・オプション) | 4                      | (0.040) |  |
| その他費用      | 1                      | 0.009   | その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数  |
| (監査費用)     | ( 1)                   | (0.009) | 公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用                           |
| 合計         | 35                     | 0.320   |  |

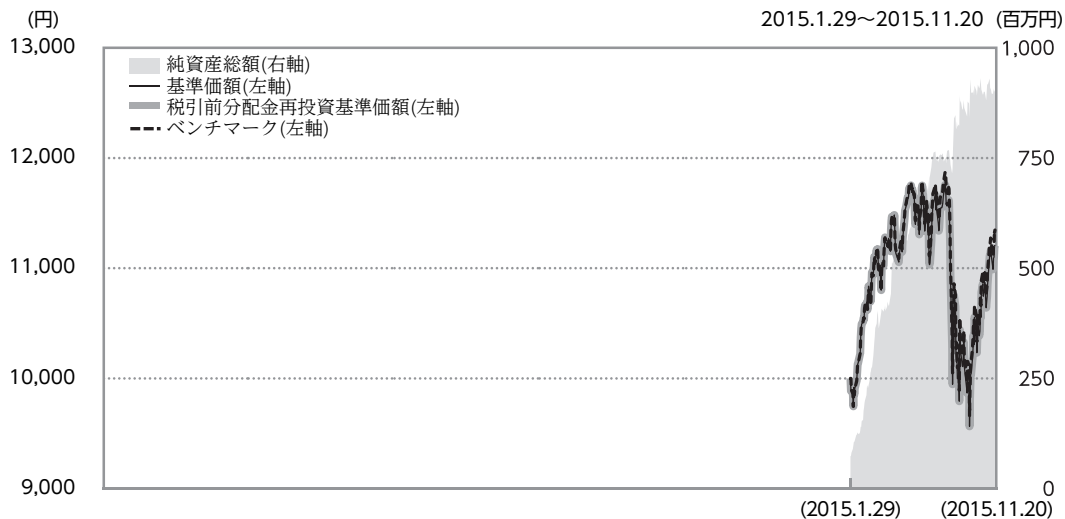
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ J P X 日経400インデックスファンド

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、設定時を10,000として指数化しています。

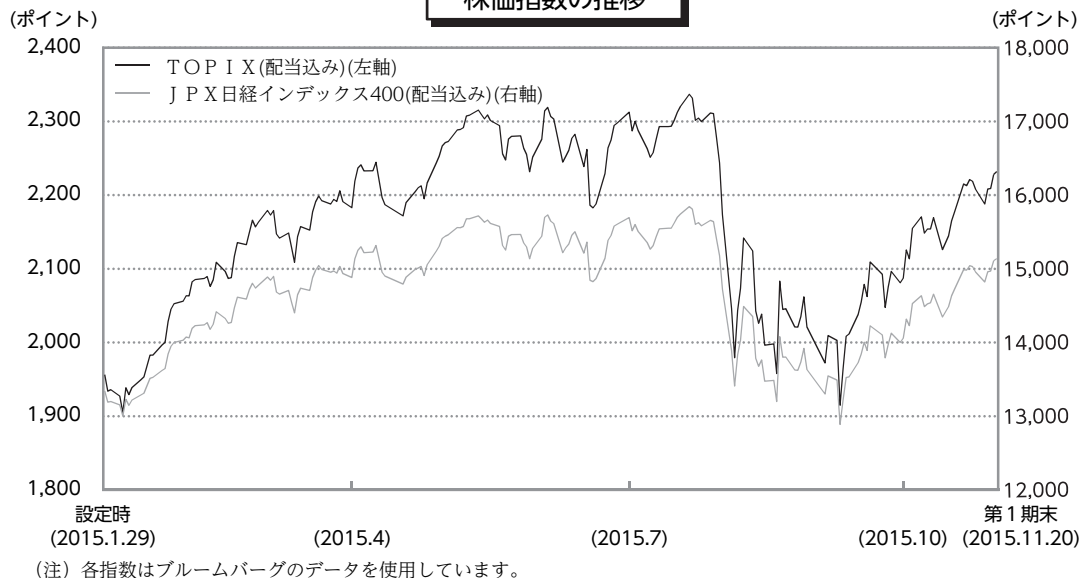
| 決算日               |       | 2015年1月29日 | 2015年11月20日 |
|-------------------|-------|------------|-------------|
| 基準価額 (分配前)        | (円)   | 10,000     | 11,211      |
| 期間分配金合計 (税引前)     | (円)   | —          | 0           |
| 税引前分配金再投資基準価額の騰落率 | (%)   | —          | 12.1        |
| ベンチマーク騰落率         | (%)   | —          | 13.5        |
| 純資産総額             | (百万円) | 74         | 899         |

(注1) 当ファンドの設定日は2015年1月29日です。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

国内株式市況

株価指数の推移



設定時以降、国内景気に対する改善期待や中国の金融緩和などを背景として、投資家の買い安心感が広がったことから、国内株式市場は上昇基調で推移しました。6月に入り、ギリシャ債務問題や中国株式市場の変動の影響を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから下落する場面もありましたが、7月以降は、国内企業の好調な決算や米利上げ観測による円安進行などから投資家の買い圧力が強まったため、再び堅調に推移しました。

しかし、8月中旬に中国人民銀行が人民元の基準値切り下げを発表したことで、中国景気の減速懸念が高まり世界景気に対する後退懸念へとつながったため、世界的に株式市場が急落しました。その後も、中国株式市場の変動や米利上げ時期に対する不透明感などを背景として、国内株式市場も乱高下する展開が続きました。

10月に入ると、日銀の追加金融緩和への期待や、欧州中央銀行（ECB）のドラギ総裁が追加金融緩和策の可能性を示唆したことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が後退したため堅調に推移し、その後も米国において好調な雇用統計を受けた利上げ観測により、円安が進行したことなどから上昇基調のまま当期末を迎えました。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ J P X日経400インデックスファンド

## ポートフォリオ

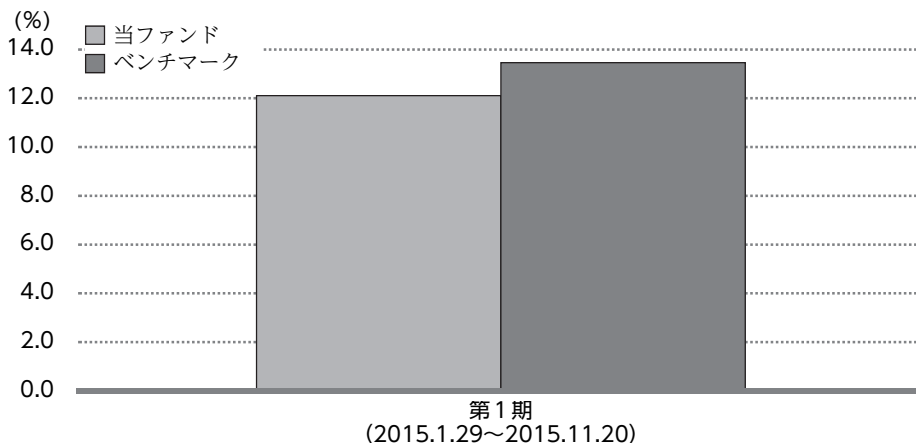
### ■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保つ運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

### ■マザーファンド

主に国内の金融商品取引所上場株式に投資を行い、J P X日経インデックス400（配当込み）の動きに連動する成果を目標として運用を行いました。

## ベンチマークとの差異



当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+12.1%となり、ベンチマーク騰落率（+13.5%）を下回りました。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ J P X日経400インデックスファンド

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目         | 当期                         |
|------------|----------------------------|
|            | 2015年1月29日<br>～2015年11月20日 |
| 当期分配金（税引前） | —                          |
| 対基準価額比率    | —                          |
| 当期の収益      | —                          |
| 当期の収益以外    | —                          |
| 翌期繰越分配対象額  | 1,210円                     |

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内の金融商品取引所上場株式に投資を行い、J P X日経インデックス400（配当込み）の動きに連動する成果を目標に運用を行います。

### ■マザーファンド

国内の金融商品取引所上場株式に投資を行い、J P X日経インデックス400（配当込み）の動きに連動する成果を目標に運用を行います。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ J P X 日経400インデックスファンド

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### ■組入ファンド

|                                   | 第1期末        |
|-----------------------------------|-------------|
|                                   | 2015年11月20日 |
| ニッセイ J P X 日経400<br>インデックスマザーファンド | 100.0%      |

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

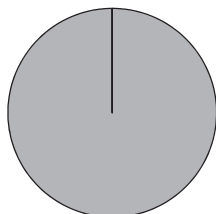
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

#### ■純資産等

| 項目         | 第1期末         |
|------------|--------------|
|            | 2015年11月20日  |
| 純資産総額      | 899,813,481円 |
| 受益権総口数     | 802,626,033口 |
| 1万口当たり基準価額 | 11,211円      |

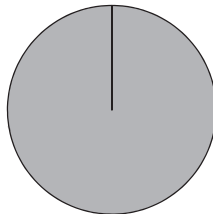
(注) 当期間中における追加設定元本額は1,887,551,471円、同解約元本額は1,159,156,199円です。

#### ■資産別配分



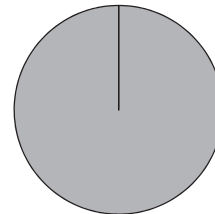
親投資信託受益証券  
100.0%

#### ■国別配分



日本  
100.0%

#### ■通貨別配分



円  
100.0%

(注) 資産別・国別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。



# <購入・換金手数料なし>ニッセイ J P X 日経400インデックスファンド

## ニッセイ J P X 日経400インデックスマザーファンドの概要

### ■基準価額の推移



(注) ベンチマークは J P X 日経インデックス400 (配当込み) で、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。「J P X 日経インデックス400」は、日本取引所グループおよび東京証券取引所 (以下総称して「J P X グループ」といいます) ならびに日本経済新聞社 (以下「日経」といいます) の知的財産であり、その商標権その他の知的財産権は、すべて「J P X グループ」および「日経」に帰属しています。「J P X グループ」および「日経」は、「J P X 日経インデックス400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。「J P X グループ」および「日経」は、「J P X 日経インデックス400」の構成銘柄、計算方法、その他「J P X 日経インデックス400」の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。「J P X グループ」および「日経」は、当商品の運用および取引に関して、一切の責任を負いません。

### ■上位銘柄

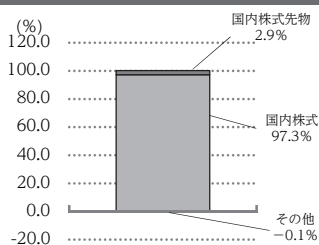
| 銘柄名               | 通貨 | 比率   |
|-------------------|----|------|
| 日本たばこ産業           | 円  | 1.6% |
| 日本電信電話            | 円  | 1.5  |
| KDDI              | 円  | 1.5  |
| 本田技研工業            | 円  | 1.5  |
| みずほフィナンシャルグループ    | 円  | 1.5  |
| ソフトバンクグループ        | 円  | 1.5  |
| 武田薬品工業            | 円  | 1.4  |
| 三井住友フィナンシャルグループ   | 円  | 1.4  |
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 円  | 1.4  |
| セブン&アイ・ホールディングス   | 円  | 1.3  |
| 組入銘柄数             |    | 400  |

### ■1万口当たりの費用明細

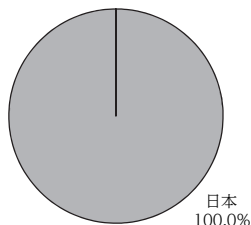
(2015.5.21~2015.11.20)

| 項目              | 金額        |
|-----------------|-----------|
| 売買委託手数料<br>(株式) | 3円<br>(0) |
| (先物・オプション)      | (3)       |
| 合計              | 3         |

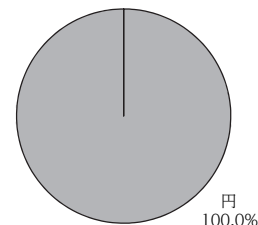
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものです。費用項目については2ページの注記をご参照ください。

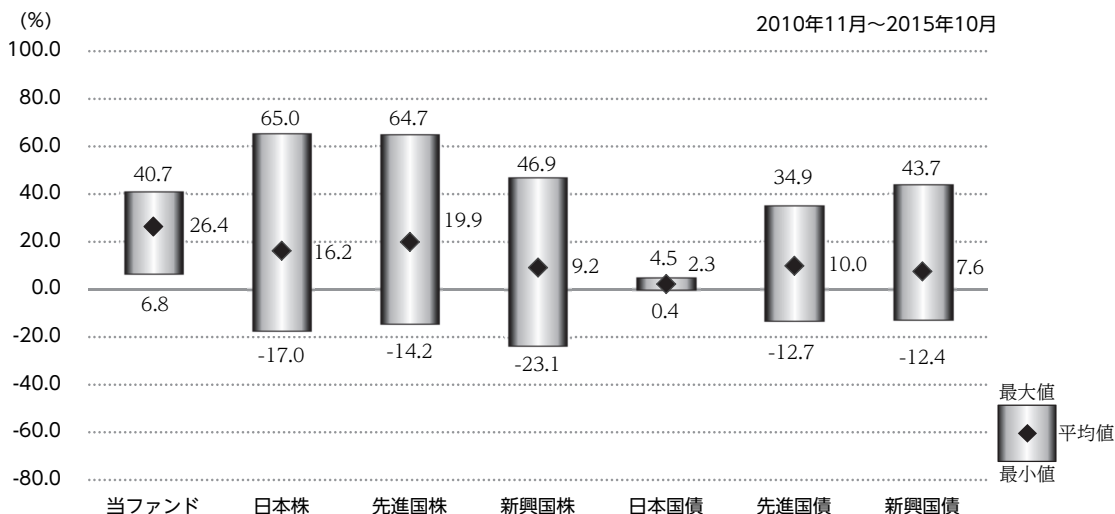
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2015年11月20日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入価値証券明細表をご参照ください。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ J P X 日経400インデックスファンド

## 参考情報

### ■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- (注1) 上記は、当ファンドの騰落率(税引前分配金再投資基準価額騰落率)と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。
- (注2) 2010年11月～2015年10月の5年間に於ける1年リターンの平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、設定日以前のデータはファンドのベンチマークを用いて騰落率を算出しています。したがって、すべてがファンドの実績ではありません。ただし、当該ベンチマークの算出開始日は2014年1月6日であるため、算出できる騰落率のみを記載しています。

### <代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX(東証株価指数)(配当込み)
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし(対円)」の指数を採用しています。

- ・TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPI 国債とは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCが開発した債券指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

## お知らせ

### ■運用体制の変更について

運用部門の担当役員2名（取締役執行役員CO-CIO、執行役員CO-CIO）のうち1名（取締役執行役員CO-CIO）が担当をはずれました。

なお、残る1名については同日付で執行役員CO-CIOから取締役執行役員CIOに昇任しています。  
(2015年3月25日)

### ■関連会社の実質保有比率

2015年10月末現在、当ファンドの主要投資対象であるマザーファンドの信託財産において、委託会社の主要株主である日本生命保険相互会社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に25.1%保有しています。当該実質保有分は、日本生命保険相互会社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ J P X日経400インデックスファンド

## 当ファンドの概要

|         |  |  |
|---------|--|--|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／国内／株式／インデックス型  |  |
| 信 託 期 間 | 無期限  |  |
| 運 用 方 針 | ニッセイ J P X日経400インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内の金融商品取引所上場株式に投資を行い、J P X日経インデックス400（配当込み）の動きに連動する成果を目標に運用を行います。 |  |
| 主要運用対象  | <購入・換金手数料なし><br>ニッセイ J P X日経400<br>インデックスファンド  | ニッセイ J P X日経400インデックスマザーファンド受益証券                                     |
|         | ニッセイ J P X日経400<br>インデックスマザーファンド   | 国内の金融商品取引所上場株式   |
| 運 用 方 法 | <購入・換金手数料なし><br>ニッセイ J P X日経400<br>インデックスファンド  | 以下の様な投資制限のもと運用を行います。<br>・株式への実質投資割合には、制限を設けません。<br>・外貨建資産への投資は行いません。 |
|         | ニッセイ J P X日経400<br>インデックスマザーファンド   | 以下の様な投資制限のもと運用を行います。<br>・株式への投資割合には、制限を設けません。<br>・外貨建資産への投資は行いません。   |
| 分 配 方 針 | 毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。                |  |